

インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎

TEL0985-52-6688

FAX0985-52-8093

検査方法変更項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、かねてより、日本内分泌学会による「原発性アルドステロン症(PA)診断の手引き」では、PA スクリーニング法として、血漿アルドステロンと血漿レニン活性または活性型レニン定量を測定し、その比を目安にすることを推奨しています。

この度、こちらのアルドステロン検査で使用する試薬を、日本内分泌学会の公告に基づき開発された標準化対応試薬(OLEIA 法試薬)へ変更させて頂くとともに、対象項目の検査内容を変更させて頂く事となりましたのでご案内申し上げます。

また、こちらの変更は本年3月末を予定しておりましたが、現行試薬の出荷状況が予想以上に多く、急遽、期日前に変更させて頂く事となりましたので、あわせてご案内申し上げます。

急なご案内にて大変ご迷惑をお掛け致しますが、事情をご賢察の上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

◆ 変更項目

- アルドステロン(血清/尿)
- PAC/PRA(アルドステロン・レニン活性比)
- PAC/ARC(アルドステロン・活性型レニン定量比)

◆ 変更期日： 令和3年3月6日(土)受付分より

※詳細につきましては裏面をご参照下さい

■ アルドステロン 変更内容

今回の変更により、参考基準値／検査材料が変更となりますので、予めご了承ください。

◆ 検査内容:

	新	旧
項目コード	1688	同左
項目名	アルドステロン	同左
参考基準値 (単 位)	4.0~82.1 (pg/ml)	3.6~24.0 (ng/dl)
検 査 方 法	CLEIA法	RIA・固相法
採 取 容 器	EDTA-2Na管 2ml	分離剤入り採血管
検体必要量	血漿 0.5ml	血清 0.6ml
採血時備考	早朝15分以上座位にて安静後、 指定容器に採血 十分混和し遠心後、血漿凍結 報告値が100000.0以上となる場合 は、別紙報告となります	早朝安静状態で採血 ヘパリン血漿不可

◆ 検査内容:

	新	旧
項目コード	1779	同左
項目名	アルドステロン(尿)	同左
参考基準値 (単 位)	1.0~19.3 (pg/ml)	7.5以下 (μ g/day)
検 査 方 法	CLEIA法	RIA・固相法
採 取 容 器	滅菌スピッツ	同左
検体必要量	一般尿 1.0ml	蓄尿 1.0ml
採血時備考	※1 蓄尿の場合、参考基準値は同値で の単位(μ g/day)にて別紙報告致 します ※2 蓄尿の場合は添加剤無しで24時間 蓄尿し、尿量測定後、速やかに必要 量を凍結して提出してください。ご依 頼時に尿量をご記入ください	トルエン1~2mlを加え24時間蓄尿 尿量を記入し必要量を提出してください

■ PAC/PRA 変更内容

従来、「PAC/PRA」1 項目のご依頼にて「アルドステロン・レニン活性・PAC/PRA比」の3 項目を結果返却致しておりましたが、今回の変更により、【**アルドステロン・レニン活性・PAC/PRA**】3 項目を同時依頼頂く形式へ変更となりましたので予めご了承ください。

◆ 検査内容:

	新	旧
参考基準値 (単 位)	<p>1688:アルドステロン 4. 0~82. 1 (pg/ml)</p> <p>1670:レニン活性 検査案内参照(ng/ml/hr) 随時:0. 2~3. 9 臥位:0. 2~2. 3 立位:0. 2~63. 7</p> <p>2290:PAC/PRA PAC RIA相当値 ※1 基準値なし(pg/ml) PAC/PRA比 200以下(カットオフ値)</p> <p>※上記赤文字 3 項目の同時依頼が 必須となります</p>	<p>2290:PAC/PRA アルドステロンPAC 検査案内参照(pg/ml) 随時:35. 7~240. 0 臥位:29. 9~158. 8 立位:38. 9~306. 8 レニン活性 検査案内参照(ng/ml/hr) 同左 PAC/PRA 基準値/単位なし</p>
検査方法	CLEIA法、計算法	RIA・固相法、EIA法
採取容器	EDTA-2Na管 5ml	同左
検体必要量	血漿 1. 2ml	血漿 1. 3ml
採血時備考	早朝15分以上座位にて安静後、 指定容器に採血 十分混和し遠心後、血漿凍結	早朝安静状態で採血 ヘパリン血漿不可 冷却遠心後、血漿凍結
備 考	<p>※1 PAC/RIA相当値・・・補正式より算出 RIA相当値=アルドステロン CLEIA 値×1.174+42.3 報告値が100000. 0 以上となる場合は、別紙報告となります 報告範囲:47. 0未満~2348000.0以上</p> <p>※2 PAC/PRA比のPAスクリーニングカットオフ値は従来のRIA法アルドステロン値を 元に設定されております そのカットオフ値を継続し使用する為に、アルドステロンCLEIA値をRIA相当値として 補正したデータを使用して算出いたします</p>	

※ その他変更はございません

■ PAC/ARC 変更内容

従来、「PAC/ARC」1項目のご依頼にて「アルドステロン・レニン定量・PAC/PRA比」の3項目を結果返却致しておりましたが、今回の変更により、【**アルドステロン・レニン定量・PAC/ARC**】3項目を同時依頼頂く形式へ変更となりましたので予めご了承ください。

◆ 検査内容:

	新	旧
参考基準値 (単 位)	<p>1688:アルドステロン 4. 0~82. 1(pg/ml)</p> <p>2308:レニン定量 2. 21~39. 49(pg/ml)</p> <p>2291:PAC/ARC PAC RIA相当値 ※1 基準値なし(pg/ml) PAC/ARC比 40以下(カットオフ値)</p> <p>※上記赤文字 3 項目の同時依頼が 必須となります</p>	<p>2291:PAC/ARC アルドステロンPAC 検査案内参照(pg/ml) 随時:35. 7~240. 0 臥位:29. 9~158. 8 立位:38. 9~306. 8</p> <p>レニン定量 検査案内参照(pg/ml) 臥位:2. 5~21. 4 立位:3. 6~63. 7</p> <p>PAC/ARC 基準値/単位なし</p>
検査方法	CLEIA法、計算法	RIA・固相法、EIA法
採取容器	EDTA-2Na管 5ml	同左
検体必要量	血漿 1. 0ml	血漿 1. 3ml
採血時備考	早朝15分以上座位にて安静後、 指定容器に採血 十分混和し遠心後、血漿凍結	早朝安静状態で採血 ヘパリン血漿不可 冷却遠心後、血漿凍結
備 考	<p>※1 PAC/RIA相当値・・・補正式より算出 $RIA\text{相当値} = \text{アルドステロン CLEIA 値} \times 1.174 + 42.3$ 報告値が100000. 0以上となる場合は、別紙報告となります 報告範囲:47. 0未満~2348000.0以上</p> <p>※2 PAC/ARC比のPAスクリーニングカットオフ値は従来のRIA法アルドステロン値を元に設定されております そのカットオフ値を継続し使用する為に、アルドステロンCLEIA値をRIA相当値として補正したデータを使用して算出いたします</p>	

※ その他変更はございません